



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 小松マテレー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3580 URL <https://www.komatsumatere.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中村 純 (TEL) 0761-55-8000
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	19,645	5.4	1,085	14.6	1,378	8.1	991	7.7
30年3月期第2四半期	18,637	3.0	947	38.5	1,275	46.6	920	47.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 641百万円(△59.2%) 30年3月期第2四半期 1,572百万円(551.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23.10	—
30年3月期第2四半期	21.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	48,098	35,748	74.0	830.03
30年3月期	47,794	35,490	74.0	823.14

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 35,611百万円 30年3月期 35,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
31年3月期	—	6.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	40,000	3.4	2,300	6.9	2,900	3.4	2,200	3.0	51.25	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期2Q	43,140,999株	30年3月期	43,140,999株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	237,197株	30年3月期	194,311株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期2Q	42,928,342株	30年3月期2Q	42,947,236株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に個人消費の持ち直しが見られ、全体として緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦拡大の懸念の広がりや、豪雨、台風、地震などの自然災害が全国各地で頻発するなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループでは高度化並びに多様化する市場の要望に対応するため、品質向上を第一とし、グローバルマーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速させてまいりました。また、海外企業との提携を含め、海外市場の拡大を積極的に進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,645百万円（前年同期比5.4%増）となり、営業利益は1,085百万円（前年同期比14.6%増）、経常利益は1,378百万円（前年同期比8.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は991百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

(繊維事業)

衣料ファブリック部門は、国内外において高感性・高機能素材の開発と市場導入を進めてまいりました。なかでも海外向けファッション分野、海外向けスポーツ・機能分野については順調に拡大し増収となり、中東向け民族衣装は減少となるも概ね計画通りに推移しました。国内向けは総じて厳しい市場環境にあるなか、スポーツ・機能分野が海外同様に順調に推移し、当部門全体は増収となりました。

資材ファブリック部門は、国内の車輦内装材が減収となる一方、生活関連資材分野及び、医療・福祉のメディカル分野を中心に順調に増加しました。また、リビング分野についても概ね計画通りに推移したことから、当部門全体は増収となりました。

製品部門は、市場動向により減収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は19,291百万円となりました。

(物流物販事業)

物流並びに物販分野は前年同期比で微減となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は353百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、48,098百万円となり、前連結会計年度末に比べ303百万円増加しました。これは主に建物及び構築物が96百万円減少したものの、商品及び製品が265百万円、原材料及び貯蔵品が177百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、12,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加しました。これは主に未払法人税等が75百万円減少したものの、賞与引当金が138百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、35,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が279百万円減少したものの、利益剰余金が647百万円増加したことによるものであります。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、5,259百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は1,078百万円（前年同期は1,703百万円の資金の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,332百万円、減価償却費619百万円、支出の主な内訳は、法人税等の支払額414百万円、たな卸資産の増加額395百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は716百万円（前年同期は388百万円の資金の減少）となりました。支出の主な内訳は、投資有価証券の取得による支出698百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は384百万円（前年同期は347百万円の資金の減少）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額343百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,324	5,260
受取手形及び売掛金	8,876	8,909
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	1,670	1,936
仕掛品	822	757
原材料及び貯蔵品	1,790	1,967
その他	173	163
貸倒引当金	△31	△28
流動資産合計	20,126	20,468
固定資産		
有形固定資産	8,403	8,294
無形固定資産	363	398
投資その他の資産		
投資有価証券	17,770	17,682
繰延税金資産	584	711
その他	547	545
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	18,900	18,937
固定資産合計	27,667	27,630
資産合計	47,794	48,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,476	5,613
未払法人税等	474	398
賞与引当金	526	665
その他の引当金	13	—
その他	1,308	1,247
流動負債合計	7,800	7,925
固定負債		
役員退職慰労引当金	494	494
退職給付に係る負債	3,750	3,710
その他	258	219
固定負債合計	4,504	4,424
負債合計	12,304	12,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,701	4,701
利益剰余金	23,816	24,464
自己株式	△79	△118
株主資本合計	33,119	33,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,959	1,679
為替換算調整勘定	247	182
退職給付に係る調整累計額	24	22
その他の包括利益累計額合計	2,231	1,883
非支配株主持分	139	136
純資産合計	35,490	35,748
負債純資産合計	47,794	48,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	18,637	19,645
売上原価	14,625	15,494
売上総利益	4,011	4,151
販売費及び一般管理費	3,064	3,066
営業利益	947	1,085
営業外収益		
受取配当金	83	89
持分法による投資利益	129	156
為替差益	20	—
その他	109	79
営業外収益合計	343	325
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	18
為替予約評価損	6	6
その他	7	7
営業外費用合計	15	33
経常利益	1,275	1,378
特別利益		
固定資産売却益	3	—
国庫補助金	48	—
特別利益合計	52	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	7	9
固定資産圧縮損	48	—
75周年記念事業費	—	11
災害損失	—	23
特別損失合計	56	45
税金等調整前四半期純利益	1,270	1,332
法人税、住民税及び事業税	331	344
法人税等調整額	28	△5
法人税等合計	359	338
四半期純利益	911	993
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	920	991

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	911	993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	702	△273
為替換算調整勘定	△42	△69
退職給付に係る調整額	△2	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△6
その他の包括利益合計	661	△352
四半期包括利益	1,572	641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,585	644
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,270	1,332
減価償却費	629	619
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	23	△44
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△2
その他の引当金の増減額(△は減少)	△6	△13
持分法による投資損益(△は益)	△129	△156
受取利息及び受取配当金	△116	△125
支払利息	1	1
固定資産除売却損益(△は益)	4	10
補助金収入	△48	—
固定資産圧縮損	48	—
売上債権の増減額(△は増加)	△238	△54
たな卸資産の増減額(△は増加)	△27	△395
仕入債務の増減額(△は減少)	362	152
その他	140	41
小計	1,912	1,366
利息及び配当金の受取額	119	127
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△327	△414
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,703	1,078
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	—
定期預金の払戻による収入	51	25
有価証券の取得による支出	△500	△500
有価証券の償還による収入	1,000	500
投資有価証券の取得による支出	△1,009	△698
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	500
固定資産の取得による支出	△437	△544
固定資産の売却による収入	11	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△308	△343
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	—
その他	△39	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347	△384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	961	△37
現金及び現金同等物の期首残高	4,281	5,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,243	5,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,264	372	18,637	—	18,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	882	901	△901	—
計	18,282	1,255	19,538	△901	18,637
セグメント利益	887	52	939	7	947

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	物流物販事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,291	353	19,645	—	19,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	946	966	△966	—
計	19,311	1,300	20,612	△966	19,645
セグメント利益	1,037	44	1,082	2	1,085

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。